

事業所名

ぴあキント

支援プログラム

作成日

2024年

12月

12日

| | | | | | | |
|-----------|---|----|-----|-----|---------|--|
| 法人（事業所）理念 | <p>発達臨床像に基づいた見立てと科学的根拠に応じた支援方略（子ども支援）、発達理論と脳科学をベースにした子育て支援&エンパワメント（保護者支援）を基本理念としつつ、子どもの望ましい行動を増やすことで自立・自律にむかうことを支援する。</p> | | | | | |
| 支援方針 | <p>発達領域を9つの領域に分割して、その中からお子さんにニーズに合った領域を見定め発達課題を設定する。それぞれの課題において、より効果的と考えられる手法（可能な限りエビデンスのある手法）を選択し実践する。すべての子どもに個別療育と集団療育の両方の機会を調整して汎化を刺激する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会情動スキル（社会性、コミュニケーション、感情調整、チャレンジ精神など）の課題を中心にプログラムを設定する。 ・個性 x 療育環境 x 家庭環境の相互作用を目指す。 ・TEACCHプログラムの理念とメソッドから環境調整を考える。 ・行動学習理論を参照し、望ましい行動を増やすことを基本方針とする（叱る指導・支援は禁止）。 | | | | | |
| 営業時間 | 9時 | 0分 | 17時 | 30分 | 送迎実施の有無 | あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> |
| 支 援 内 容 | | | | | | |
| 健康・生活 | <p>a 健康状態の維持・改善、b 生活のリズムや生活習慣の形成、c 基本的な生活スキルの獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理的構造化の中での活動 ・時間的スケジュールの活用と見通し ・ワークシステムでの自律学習 ・視覚的教材・ツールの活用と自律学習 ・トイレトレーニング ・日常動作で有効な目と手の協応動作全般 ・感情のモニタリング～原因やキッカケの言語化 ・気晴らし行動と情動焦点型コーピング ・アンガーマネジメントに関する心理教育とエクササイズ ・感情に関する脳の働きに関する心理教育とエクササイズ ・注意の焦点化と感情調整 ・性教育 | | | | | |
| 運動・感覚 | <p>a 姿勢と運動・動作の向上、b 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用、c 保有する感覚の総合的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左右対称&非対称、連続した模倣動作 ・吹く&吸う動作～かんたんな構音発声の練習 ・触覚、前庭感覚、固有感覚のそれぞれの敏感vs.鈍感にたいおうした感覚あそび ・姿勢保持の運動あそび ・走る止まる、投げる捕る、跳ぶ、全身などのコーディネーション運動 ・コイン入れ、ペグさしなど手指の巧緻性運動や工作 ・追従性眼球運動、跳躍性眼球運動などのビジョントレーニング | | | | | |

| | | | |
|-----------|--|--|--|
| 本人支援 | 認知・行動 | <p>a 認知の発達と行動の習得、b 空間・時間、数等の概念形成の習得、c 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 終了概念とプットイン ・ 物の機能や属性、色形、数量、時間の概念 ・ 物の形&配置の視空間認知 ・ 聴覚的&視覚的短期記憶 ・ かんたんな規則性、符号の置き換え問題 ・ 言葉の音声刺激や視覚的刺激に対応して動作の切り替えあそびや、G0-NoG0あそび ・ 特定の図形や音声刺激だけに注意をむける選択的注意 ・ 行動上の問題に対する認知的&行動的変容 | |
| | 言語コミュニケーション | <p>a 言語の形成と活用、b 言語の受容及び表出、c コミュニケーションの基礎的能力の向上、d コミュニケーション手段の選択と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジェスチャー+発声+アイコンタクト ・ 絵カード交換式コミュニケーション ・ コミュニケーションの取り方と発語トレーニング ・ ひとつ～ふたつの言語指示の理解 ・ 名詞と動作語、様子の言葉、助詞などの語彙の拡大 ・ ひとつの名詞を修飾する複数の事象や概念の獲得 ・ 表出言語の機能（要求、コメント、拒否など）のバランスと会話の機能 ・ ひながらなどの文字理解の習得～音韻の理解～音読の流暢性 ・ 場面の因果関係を推測し、言葉で表出 ・ 司会役と応答役に分かれた集団ゲームの進行 | |
| | 人間関係社会性 | <p>a 他者との関わり（人間関係）の形成、b 自己の理解と感情調整、c 仲間づくりと集団への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みじかなおとなの模倣 ・ アタッチメント形成を支えるネガティブ情動への対応 ・ 情動の共有～コミュニケーションにおけるシンボル理解～遊びにおけるかんたんな役割交代～おとなとの協力・協同活動 ・ 非言語コミュニケーションでの意思表示 ・ ひとり玩具あそび～仲間とのごっこ遊び ・ ルールのある遊び～あそびでの役割分担～仲間との作戦会議 ・ 公平にあそびのを決める話し合いスキル ・ 自分の好きなことと得意なことの理解～診断名の受容のプロセス（子どもに診断名を告知したい人のみ） ・ 問題解決型コーピング（学童期におけるソーシャルスキル42項目） ・ 社会的なマナーに関する話し合い ・ 危険な状況の予知と回避行動の理解 | |
| 家族支援 | 療育の様子を観察+体験してもらい助言や療育内容について共有するペアレントトレーニング（子育てサポート）、こどもの個性や生活における困りごとについて相談（事業所内相談）、保護者交流会などを実施。 | 移行支援 | ライフステージの切り替えを見据えた就学進路相談や、学校・保育所への移行を支える環境調整の支援などを実施。 |
| 地域支援・地域連携 | 学校・保育所との関係機関連携を中心に、ケース会議やコンサルテーション（後方支援）を実施。まちづくり協議会や自立支援協議会の会議にもできるかぎり参加。 | 職員の質の向上 | 乳幼児と学童期の発達理論+行動学習理論+発達障がい領域の認知行動個性+TEACCHプログラムを基盤にした環境調整+保護者支援における基本方針などを基本プログラムとしたOJTを実施。職員間の対人関係を正常化させる目的でスタッフリーダーも配置。 |
| 主な行事等 | 季節の行事（七夕、クリスマス、節分、ひな祭りなど）に合わせた絵本の読み聞かせや、工作などの活動。夏は水を使った玩具を提供することも。 | | |